

自分史上最高

太ったわけでも痩せたわけでもないのに、5年前、10年前と顔の印象が違う。それは、加齢による顔の“ボリューム減少”

計画③

プロ目線の
老化対策を知る

Professional



銀座よしエクリニック 廣瀬 嘉恵先生

PROFILE ●ひろせよし恵 医療法人社団・優徳会理事長、医学博士。
東京大学医学部大学院卒業後、東京大学付属大橋病院皮膚科勤務などを経て、美容皮膚科銀座よしエクリニック院長に就任。自然で若々しい印象づくりに定評のある、切らない美容医療のバイオニア的存在。

銀座よしエクリニック (本院)

住 東京都中央区銀座6-9-8 銀座UKビル4F 電03-5537-3808
常月～金11時～14時、15時～20時 土11時～18時 休 日・祝
●ヒアルロン酸 注入 ¥50,000～

厚生労働省承認のヒアルロン酸、
ジュビダームビスタ®



国内初、厚生省認可のヒアルロン酸。独自技術VYCROSS®を搭載し、ボリューム&リフト力の長期持続性、理想のデザインの成形性を実現。アラカンジェン・ジュビダームビスタ®ボリュームXC

ヒアルロン酸注入医療は

単なるシワ治療からトータルフェイシャル治療の時代に

“若々しい印象は、顔の輪郭の美しさがカギ。
30代からはボリュームロスを補うケアを、”

骨は20代をピークに徐々に縮んでいき、40代～50代になると、こめかみや頬骨、眼窩、あごなど、若々しい印象の決め手となる部分の骨が全体的に薄く縮小していきます。それこそが、顔印象の変化の原因。骨による支えが弱いために、シワやたるみが起こりやすくなるのです。

若々しい印象の決め手は、顔の輪郭の美しさで決まるもの。

顔のパーツの位置が下がるほど老けて見えるので、ふっくらボリュームのある上向きの頬、すっきりとしたフェイスラインをできがざりキープしたいものですね。

“ボリュームを補充して美しい輪郭をデザインする
ヒアルロン酸注入が世界的なトレンドです、”

そうしたボリュームロスによるエイジングサインを解消する施術として今主流となっているのが、「ヒアルロン酸注入法」。

たるみを解消するのでも、メスを入れて劇的な変化を狙う施術法とは違い、

こめかみと頬にヒアルロン酸を注入して、そのボリュームで皮膚を持ち上げフェイスラインをすっきり整えるというナチュラルな仕上がり、今の美容医療のトレンドとなっています。

残すべきシワは残す、50代ならきれいな50代を目指す。

そんなふうに変化を求めすぎない感覚が、美容医療で自然に若々しさを保つ秘訣です。

“ハードルが下がった今だからこそ、
注入剤やクリニック選びは慎重に、”

ヒアルロン酸注入は、メスを入れる手術と比べたら、ダウンタイムも少なく、エステの延長のような感覚で気軽にトライしやすいかもしれません。

ただし、どのクリニックを選ぶか、

どんな薬剤を使っているのか、しっかり見極めることがとても大切です。安全性の高い承認薬を使っているかどうか、自分の悩みを理解し、理想を実現してくれる技術力があるか。

事前にきちんと確認しておくことを忘れずにください。



優しくも鋭い神かんセリングで
瞬時に美顔をデザイン!